

## 中野市保育所運営審議会（第2回）議事録要旨

平成19年6月22日（金）午後3時30分  
第1委員会室

### 出席委員

（宮寄三雄、外谷良弘、渡邊由美子、柴本貞夫、高田幸江、石澤さとみ、高相淳子）

### 欠席委員（久保賢一）

### 事務局

（高野子ども部長、塚田保育課長、花岡保育課長補佐、土屋保育係長、小林主査）

1 開会（事務局：子ども部長 進行） 午後3時30分～

2 会長あいさつ

3 協議事項（会長 進行） 午後3時35分～

（1）中野市保育料等について

○ 会長により諮問内容の確認をする

○ 事務局からの追加説明（保育係長）

①中野市保育料の在籍する児童の階層区分・第2－1階層の「母子・障害者等の事由による非課税世帯」の障害者等の中に、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者を追加する。

②前回の資料8（県下19市保育料改定状況）の訂正

### 質疑内容（抜粋・要略）

○ 事務局の説明が終了しました。委員の皆様から、質問・ご意見がありましたらお願いします。（会長）

○ 県下19市の一人当たりの月平均保育料で、飯田市は12番、伊那市は

14番目となっている。なぜ引き下げるのか知りたい。(委員)

- 伊那市については、保育園の統廃合による人件費の抑制や光熱水費の節約などの効果を、保育料の引く下げに反映させることとしているようです。飯田市については特に聞いておりません。(保育課長)
- 資料8の19市の改定調書の中で、3歳未満と4歳以上児はすべて保育料の額が入っているのに、3歳児の金額がないところがあるのはなぜですか。  
(委員)
- 国の徴収金基準表が、3歳児未満児の場合と3歳児以上児の場合となっています。結果として3歳児と4歳以上児が同額であります。中野市は3段階にして差をつけていますが、他市は国にあわせているところもあり、3歳児の欄が空欄となっています。(保育課長)
- 他に賛成反対の意見はございますか(会長)
- 据え置きということであるため賛成である。(委員)
- 答申案の説明(保育係長)
- 他にご意見はありますか(会長)
- 保育事業は7月、特別保育事業は10月の実施時期である。どのような違いがあるのですか。(委員)
- 6月にならないと一番新しい税の資料が整わないので毎年この時期になります。特別事業に関しては、周知期間をおかなければならないためであります。今後広報やパンフレット等で周知していきたい。(保育課長)
- 主任児童委員の立場で意見を申し上げます。答申事項の(1)がいいと思います。自分の時は保育料のために働くという感じがした。中野市は保育料の高い児童が半額、3番目になると無料になる。この制度はすばらしいと思います。子育て支援の話聞いた中で、金銭的支援をするのが多いが、お金だけで解決できない問題もある。又出産を契機に仕事をやめた人の

50%以上は、パートではなく本格的に就労したいと考えている。このようなことも含めて、子育て支援策を考えていってほしいと思います。

(委員)

○ 中野市では子育てをどのように支援していくかを、中野市次世代育成支援計画のすくすくプランできめ細かく計画をしています。その中でも雇用等のことものっています。今後育児休暇制度がしっかり定着することを願っております。(子ども部長)

○ 豊田地区の保育料下げてもらいうれしく思っている。(委員)

○ 他に質問がなければ、質疑を終結いたします。(会長)

(2) その他

①答申書の提出の説明(保育課長)

②整備計画の諮問時期についての説明(保育課長補佐)

○ ご質問をお受けします。(会長)

○ 統合問題については、利害関係もありもめるケースもある。地域に入ってコンセンサスをするのが大事である。(委員)

○ 今後のスケジュールとして、審議会に原案をお示しして諮問をすると同時に市民の意見を求めるパブリックコメントを実施します。又関係する園や地域に出向いて説明をし、意見をお聞きします。こんな意見があったということを審議会にださせていただき議していただきたいと思います。  
(保育課長補佐)

○ ご質問がなければ協議事項は終了します。(会長)

閉会(子ども部長) 午後4時05分